

作品タイトル

「水戸郷土かるた」の場所に行ってみた

解説

第26回いばらき児童生徒地図作品展優秀賞受賞。「水戸郷土かるた」の場所を家族で探す様子や会話が思い浮かぶ温かみを感じる作品です。歴史的内容と地理的な内容の融合した見応えのある作品で、特に地図を活用したまとめの完成度が高く、訪れた場所の位置を的確に表し、写真の扱いも効果的です。活動の振り返りをきちんとまとめ、課題を見いだしていることがすばらしいです。

社会科では、その場所に行ってみて味わえる五感をフル活用した学習が効果的です。制作者のお二人にもよい経験、よい学習になったのではないかと思います。

制作者

水戸市立双葉台小学校 4年 今川 紗佑里 1年 今川 紗矢香

制作者による紹介

私たちの住む水戸市には、「水戸郷土かるた」というものがあります。学校で郷土かるたの絵札をつくる授業があり、実際の場所がどうなっているのか知りたくなったので、調べることにしました。管理している人がいる偕楽園やお寺・神社などは、読み札の通りの昔からの様子が残っていましたが、管理する人がいない場所は石碑が残っているだけでした。未来に向けて、これからも私たちの世代が次につないでいくことが大切だと感じました。